令和７年度「感染管理【実践編】」開催要領

1. 目　　　的：感染防止対策・感染管理の知識・技術を学び，施設内で感染防止を推進するためのリーダーとして必要な看護師の役割を理解できる。
2. 目　　　標：1）感染防止対策・感染管理活動の実践に必要な知識・技術と感染管理教育活動が理解できる。
   2）職業感染対策が理解できる。
   3）病原微生物の基礎的知識と抗菌薬の使用方法が理解できる。
   4）サーベイランスの基礎的知識が理解できる。
   5）科学的根拠に基づいた看護ケアと感染防止対策・感染管理について実践し、評価できる。
   6）感染防止対策・感染管理活動に携わる看護師の役割が理解できる。
3. 定　　　員：70 人
4. 受 講 条 件：感染管理【基礎編】を受講修了していること、感染管理の担当者、リンクナース等
5. 受　講　料：　会員：17,500 円（税込）、非会員：52,500 円（税込）
6. 研修修了証：全課程を出席した者に広島県看護協会会長名による研修修了証を交付する。
7. プログラム

※1 日目はオンライン研修、２日目～４日目は集合研修

日程	テーマ／時間	ねらい	内　　容	方法	時間	講　　師
1 日目 11/25 （火）	感染管理活動の実践における必要な知識・技術及び感染管理教育活動 （9：00～10：25）	1.エビデンスに基づいた医療関連感染防止対策・感染管理に必要な情報収集と分析ができる 2.プレゼンテーション、文書作成などの必要なコミュニケーションスキルを習得できる 3.成人学習の特徴を知り教育・指導計画の立案について理解する	1.エビデンスに基づいた医療関連感染の予防と管理に必要な情報収集と分析（感染防止のリスクアセスメント） 2.感染防止対策･感染管理の有効性に関する科学的根拠の検索方法とエビデ ンスレベルに関する判断 3.医療関連感染の予防と管理に関する科学的根拠の評価 4.主体的な改善活動を行うために必要なコミュニケーションスキル（プレゼンテーション、文書作成など） 5.成人学習者の特性と組織における教育・指導（マニュアルの作成・実施・評価）	講義	1.5	福山市民病院 感染管理認定看護師 三宅智津恵
	職業感染対策 （10：35～12：00）	職業感染の予防策を理解する	1.流行性ウイルス感染症の予防と曝露後対応（麻疹、水痘、風疹、流行性耳下腺炎、インフルエンザ） 2.結核の予防と曝露後対応	講義	1.5	総合病院 三原赤十字病院 感染管理認定看護師 谷満悟
	微生物検査の見方Ⅱ （13：00～14：25）	医療関連感染で問題となる微生物・感染症･ICT における微生物検査技師の役割について理解できる	1.感染症の検査 鏡検、培養、PCR、免疫･血清学的（迅速検査、ペア血清、インターフェロンγ遊離試験等）、感受性試験等の目的・原理、結果の解釈、活用 2.検査の感度と特異度 1）ICT における微生物検査技師の役割 2）微生物サーベイランス （薬剤耐性菌などの主要な微生物）	講義	1.5	広島大学病院 診療支援部 樫山誠也
	抗菌薬の使用方法Ⅱ （14：35～16：00）	抗菌薬適正使用･ICT における薬剤師の役割について理解できる	1.抗菌薬の適正使用 （各感染症の標準的治療法、使用制 限（許可制、届出制）） 2.ICT における薬剤師の役割 3.抗菌薬サーベイランスについて	講義	1.5	広島市立 北部医療センター 安佐市民病院 薬剤部 植竹宣江

2 日目 12/1 （月）	サーベイランスの実際と情報の活用 （9：00～16：00）	1. 医療関連感染サーベイランスの概念について理解できる 2.代表的な医療関連感染サーベイランスの種類と具体的手法について理解し、実践できる 3. 自施設のサーベイランスについて考えることができる	1)サーベイランス概論 (1)サーベイランスの定義・目的 (2)サーベイランスの種類 (3)サーベイランス実施に向けた施設のアセスメント (4)実施方法（分母・分子の考え方、リスク調整等） 2)医療関連感染サーベイランス各論 侵襲的器具・処置に関連するサーベイランス（血流感染、尿路感染、肺炎、手術部位感染など）	講義	6	広島市立 北部医療センター 安佐市民病院 感染管理認定看護師 斉藤貴志
3 日目 12/2 （火）	看護ケアと感染防止Ⅱ （9：00～12：00）	科学的根拠に基づいて実施が推奨される感染防止対策・感染管理のアドヒアランスを向上するための取り組みについて理解し、実践ならびに評価できる	1. 感染防止対策・感染管理とアドヒアランス向上のための取り組み 1)侵襲的処置別感染防止対策 （ 血流感染・尿路感染 ） 2)手術部位感染防止対策 3)肺炎防止対策 2.サーベイランスの活用 1)医療関連感染サーベイランスデータの分析及び活用・評価・方法 2)プロセスサーベイランス 3)症候群サーベイランス	講義	3	広島赤十字・原爆病院 感染管理認定看護師 山本浩之
	アウトブレイクの判断と対応 （13：00～16：00）	アウトブレイク対応の具体的な手法を理解できる	1.アウトブレイク調査･介入に関する基本的な考え方と手順 1)結核【空気感染】 2)インフルエンザ/感染性胃腸炎（偽膜性腸炎)【飛沫･接触感染】 3)多剤耐性菌/疥癬/流行性角結膜炎【接触感染】	講義	3	広島記念病院 感染管理認定看護師 中野隼
4 日目 12/3 （水）	グループワーク （9：00～16：00）	自施設における医療関連感染防止対策・感染管理システムについてアセスメントを行い、具体的課題と対策を明文化することができる	1.講義での学びを基に各施設における感染防止対策・感染管理上の課題を把握、考察する 2.各施設に応じた課題に優先順位をつけ、最優先課題の対策を明文化する	講義 演習	6	JA 広島総合病院 感染管理認定看護師 平本廉昂 ファシリテーター 6 人

＊R7 年度ファシリテーター　森 合 真 治（広島市立北部医療センター安佐市民病院）
藤中めぐみ（中村内科医院）
髙 山 貴 文（土谷総合病院）
佐 藤 正 明（井原市立 井原市民病院）
松 川 沙 織（総合病院 庄原赤十字病院）
田形未菜美（医療法人ハートフルアマノ病院）